

場面	その他・全体
児童のサイン	☐ ①衣服の汚れや破れ、ボタンが取れているなど服装に異常が見られる。 ☐ ②理由のはっきりしない傷やあざ、鼻血、怪我等が見られる。また、それを隠そうとしている。 ☐ ③文具類や履き物等の持ち物が隠されたり、壊されたりする。 ☐ ④不自然な言動が見られ、表情が暗く、周囲を気にしている。 ☐ ⑤普段明るい児童が、急に元気がなくなり、ふさぎこんでいる。 ☐ ⑥頭痛や腹痛、吐き気などをよく訴えるようになる。 ☐ ⑦一人で行動することが多くなり、集団行動を敬遠するようになる。 ☐ ⑧活気がなくなり、おどおどすることが多くなる。 ☐ ⑨日記や「わたしのこころをみつめてみます。」などの記述に不安や悩みを示すようになる。 ☐ ⑩他の児童の走り遣いをさせられるなど、他の言いなりになっている。 ☐ ⑪嫌なあだ名で呼ばれたり、除け者にされたりするようになる。 ☐ ⑫特定の児童の机や椅子、持ち物などに触れようとしなくなる。 ☐ ⑬席替えの時、いつも特定の児童の近くに座るのを嫌がる。 ☐ ⑭班長や係、学級代表等の選出がまじめに行われず、押しつけで選ばれる。 ☐ ⑮グルーブ作りなどを行う時、なかなか特定の児童の所属が決まらない。 ☐ ⑯文字や作品等が乱雑になってくる。 ☐ ⑰掲示作品や黒板、壁等に中傷の言葉や悪質な落書きが見られる。
教師の手だて	☐ ①「愛の鞭」などと称して体罰は絶対に行わない。 ☐ ②「だめなものはだめ」という毅然とした態度を示しながらも、何でも頭ごなしに叱らない。かげで短く、比較しないで叱る。 ☐ ③感情に任せて、児童の心を傷つける言葉を発しない。 ☐ ④特定の児童ばかりを叱ったり褒めたりしない。 ☐ ⑤「〇〇さん」といった温かい呼称で呼ぶ。 ☐ ⑥児童の言動や表情の変化に気づくよう、普段から一人一人をよく見る。 ☐ ⑦児童会活動や学級活動を自治的な活動といって、すべてを任せない。 ☐ ⑧児童の信頼関係づくりに力を入れる。 ☐ ⑨児童と触れ合う時間を意図的に増やすように努める。 ☐ ⑩学級日誌、日記、児童の作品等に温かいコメントをいれる。 ☐ ⑪一面的な物差しで児童を評価せず、多面的にとらえ、それぞれの良さを認め、伸ばすように心がける。